

平成29年度（麻生養護学校）不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上	・公務外非行防止、職員行動指針の周知・徹底	毎月の点検表を用い法令遵守の意識の向上を図った。1月には外部講師による不祥事防止研修において不祥事防止研修の必要性、懲戒処分の傾向、服務とは何かを具体的な事例から学んだ。教育公務員としての法令遵守の意識の向上が図られた。
②わいせつ・セクハラ行為の防止	・相手の人格を尊重した指導を行う。	指導にあたっては一対一の対応ではなく、複数での対応を行った。職員一人ひとりに人権の観点から、わいせつ・セクハラは絶対にしてはいけない行為であること認識させ、何かあれば報告・相談ができる職場環境の構築に努めた。
③体罰、不適切な指導の防止	・人権尊重に根付いた指導を行う。 ・児童生徒の実態にあった指導を徹底する。	体罰と懲戒の違い、体罰と判断される行為と正当防衛、正当行為ではない違いを具体的な事例及び県が出している体罰防止ガイドラインから職員が認識することができた。体罰を起す教員の原因として、自分の指導を過信していた、全て一人で抱え込んでいた、誰にも相談しなかった、周りが何も言わなかった等を認識した。体罰、不適切な指導に対して、お互いに指摘できる関係作り、相談できる職場環境、同僚性を高めることを認識した。
④成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係わる事故防止	・電子データ及び紙ベースの適正な管理を行う ・複数による相互チェック体制を構築する	個人情報を含む電子データの取り扱いについて、年度当初に新転任者に研修を実施した。紙ベースの情報においては、個別教育計画、進路関係文書など、記載内容、保管管理、相互チェック体制を構築した。また、個人情報を含む文書管理について、誤配付、誤廃棄防止の徹底を図った。
⑤個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	・個人情報等の管理、情報セキュリティ対策を徹底し、事故防止を図る。	9月に情報セキュリティに関する校内研修を実施した。神奈川県情報セキュリティポリシーを確認し、対策重要度分類表から、学校のサーバーに保存できるものを改めて認識した。1月に児童生徒の携帯電話番号、電子メールアドレスの収集状況調査を全教職員に実施した。また、年度始め、年度末に教職員の個人情報登録状況の確認を行った。
⑥交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	・法令遵守と安全運転の実施で交通違反や事故のない職場を目指す	交通事故の事例を全職員に配布し、事故の原因や背景を各自がチェックし回収した。1月の不祥事防止研修において、懲戒処分の最も多いのは交通事故関係であることを認識した。

⑦業務執行体制の確保等	<ul style="list-style-type: none"> ・業務を組織的計画的に遂行する体制づくり、情報共有、相互チェック体制、業務協力体制の構築により不祥事を未然に防ぐ。 	<p>業務遂行にあたり各学部、各グループ等の業務管理進行管理を適切に行い、一部の職員に業務が集中しないようにした。職員室の施錠時間を遵守し、効率的な業務の遂行を図った。配布文書について、ダブルチェックを行い、文書保管等の規則に基づいて、文書の保管期間を確認し誤廃棄を防いだ。</p>
⑧会計事務等の適正執行	<ul style="list-style-type: none"> ・公費、私費会計等に関する事故を未然に防止する。 	<p>「私費会計の手引き」をもとに、4月に私費会計担当者に、会計事務処理研修会を実施し、会計処理の理解を進め、事故防止を図った。会計フォルダを私費会計担当者と所轄グループリーダーが年間4回点検し、適正な会計処理を行った。</p>

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

以上のように平成29年度不祥事防止ゼロプログラムは概ね達成できた。平成30年度は、教育公務員としての法令遵守に留まらず、個人情報等の管理、情報セキュリティを中心に、不祥事を起こさない体制づくりを目指す。